■ 国法に基づいて行ったのはなぜか。 国法に基づいて行ったのはなぜか。 国法に基づいて行ったのはなぜか。

事業の手続きを市民参画条例ではなく、

土地

主な質疑



県道沿いの土地(換地)の活用については、

ただきたい。

の入口部分でもあるため、

今後の検討材料にして

努力します。

指すために、

議長・議会運営委員会とともに

んのご理解をお願いします。

宗像市議会議員一同

政策面で良い意味で切磋琢磨できる議会を目また二元代表制を意識した上で、市長とは

いただきたい。

また、

多目的広場、

芝生広場の活

のレイアウトについても、今後、十分検討していめ、総合的に道の駅の価値を高められるよう全体

県道沿いの土地(換地)および商工会の場所も含 観光、産業の拠点として道の駅を整備する上では、 あるため、来訪者対応だけではなく、市民向けイ は指摘したい。市民の税金を投じてつくる施設で きを行った結果、市民に十分周知されなかった点 市民参画条例ではなく、土地収用法に基づき手続

ベントの開催、宗像の観光資源として今後活用

ていただきたい。

石松和敏副議長

め、市民に開かれた議会 で民主的な議会運営に努 調整役として公平・公正

を目指します。

むなかた 市議会だより

るよりも、効率性などを考え、法律上の手続きであ

ら見直しを含めて検討

するべきである。

副

議長就

任

あ 11

さ

同一時期にほぼ同じ内容の説明会を二度開催す

る土地収用法に基づく説明会に代えて実施した。

賛成意見)

主な意見

平成29年6月定例会号

●発行/宗像市議会 ●編集/議会広報編集部会 ●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号 ●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591 ●市ホームページ=http://www.city.munakata.lg.jp/ 050/080/index.html

の議員による一般質問が行われました。6月8日、9日、13日、14日の4日間、

<u>2</u> 19 人

3、4ページ参照

主な議案

で開催されました。| 本定例会は、6月2日から22日までの21日間

賛成多数 で可決

財産の取得につい

どの用地として土地を取得する議案(市長提案)。宗像市観光物産館(道の駅むなかた)の駐車場 (道の駅むなかた) の駐車場な

ようなイベントを通じ、 用方法については、

(反対意見)

●事業の手続き上の問題 駐車場については、 れると思う。道の駅の で行政のあり方が問わ

世界遺産絡みの計画で 車場、多目的広場、 あるため、数年見なが 用方法が問題。また、 生広場の広さおよび活 ると理解できるが、 る程度拡張が必要であ あ 芝 駐

道の駅むなかた

しっかり利用していただ

市長提案の議案10件は、 を経ています。(主な議案の内容および議決ら19日の間に行われた各常任委員会での審議承認、可決しました。うち6件は6月15日か 結果については、 1、4ページ参照) 本会議ですべて同意



平成23年6月定例会のあらま

副議長に石松議員が就任したため、社会常任委員会の委員長が代わりました。 総務常任委員会と建設産業委員会に変更はありません。

任に伴う副議長選挙が行われ、

石松議員が副

6月2日の本会議にて、北崎前副議長の辞

議長に選出されました。

議長を補佐し、議会の

総務常	常任委員会	社会常	常任委員会	建設産業常任委員会					
委員長	吉田 剛	委員長	北﨑 正則	委員長	神谷 建一				
副委員長	岡本 陽子	副委員長	井上 正文	副委員長	安部 芳英				
委員	末吉 孝	委員	石松 和敏	委員	植木 隆信				
//	伊達 正信	"	新留 久味子	"	福田 昭彦				
//	笠井 香奈枝	"	小島 輝枝	"	井浦 潤也				
"	岩岡 良	"	森田 卓也	"	上野 崇之				
_	_	"	小林 栄二	_	_				

傍聴の

は禁止」されています。市民のみなさいなどの時候のあいさつ状を出すこと の自筆によるものを除き、暑中お見舞 公職選挙法では「議員は答礼のため 中お見舞い 申し上げます

際は議会事務局にお声かけください。 し、傍聴章はこれまでどおり必要ですので、

ただし、傍聴章はこれ人が不要になりました。

名を記入する必要がありましたが、6月議会から記これまで議会傍聴の際は、議会事務局で住所・氏

聴時の住所・氏名の記入が

傍

不要になりました

-ピックス

長を除く19人の議員全員が一般質問

|政務活動費を公開 ………………… P4||建設産業常任委員会の行政視察報告… P4 P 2 ~ 4

宗像・沖ノ島と 関連遺産群 世界文化遺産に登録決定

地場企業の活性化につながる

「神宿る島」

員研修を行いました 7月3日に龍谷大学政策学部の土山希美枝教授を

お招きし、議員研修を行いました。

研修は「質問力を高め、議会力に活かす」と題し 自治体や議会のあり方、一般質問の機能や現状・課 題などについて講義を受けた後、議員が自分の考え 場も設けられました。短い時間ではありましたが、 この研修で学んだことを今後の議員活動に生かして いきたいと思います。



議員の意見や疑問について土山教授が答える場面

平成29年6月定例会

·般質問とは、議員が市の行政事務全般について市 の見解を問うものです。

> ちづくり事業補助金など ジ、広報、人づくりでま

援策を検討し、本年度中

となるよう要望する。

できる職員の配置が可能 の登録や、障がいに対応 本市でも就労希望場所へ

いか。

実態調査を行ったうえ

同交付金を活用

検討している。

中学校の制服をリ

員<mark>問</mark>はの<mark>答</mark> 会 へユ大の か

大変驚いている。

記載勧告について

島と3つの岩礁

ネスコ世界遺産委

のアプローチな

学生徒学用品費の増額を

就学援助制度の新入

で、子どもの未来応援地

国へ基準の見直しを

画(仮称)を策定し、域ネットワーク整備

市 計

互助の精神が大切だ

ど、一括記載に向けた口

ビー活動をどう考えてい

を提案できないか。 ユースする仕組みづくり

に子どもの未来応援地域

にある子どもに必要な支

さまざまな家庭状況

を活用し支援する。

ネットワーク整備計

を策定予定。

行っている。相談スペー

討する。

独自の給付制度構築を検 働きかけるとともに、市

の実情に応じた取り組み

と考えるので、行政が主

るのか。

けることは難しい。 導的に一定のルールを設 岡東に職員の派遣要望は

既にハローワーク福

スの確保なども含めて検

学との連携、

、ホームペー

を集め育成するため、大

どができないか。

一つとして、学習支援な

福岡東でしかできない。

らないが紙おむつを必要

が、国の基準に当てはま 要と認められる者である の意志表示が困難で、

か。取り組むべきではない

態調査を行い貧困対策に 応援交付金を活用して実

できないか。

である。 はまさい

その時どう思わ

れたか。

な出費に何らかの支援は

中学校入学時の高額

とするケースもある。対

への登録はハローワーク

ひとり親家庭支援の

育成である。市の支援は。

地域外を含めた人材

有志の会の共通した課題

陵厳寺区、

石丸区の

したところ、一つの医院

問

本市において障

支給対象は、

排尿

問

国の地域子供の未来

必

持続可能な自治区活動について

障がい者が自立できるための環境整備を

子どもの貧困対策を急げ

宗輝会/小島

輝枝

公明党/岡本

陽子

宗像志政クラブ/伊達

正信

会を引き継ぐ若者の

協議を開始している。 から問い合わせがあり、

きるが、希望する就労先 者の求人情報の提供はで

平成29年6月8日、9日、13日、14日の4日間にわたって、19人の議 員が合計36項目の質問を行いました。

○議員が質問を行った順に掲載しています。

な話があれ

生産者移動販売

維持更新のために。 公共施設の安定的な () < 8

その他の質問

具体的

ば、

前向き

○掲載項目などは質問を行った議員がそれぞれの判断で選択しています。

支援は可能

提案があった場合、

市の

- 般質問の内容は、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは8月下旬に公開予 定の議事録をご覧ください。
- ○この一般質問は、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産に登録さ れる前に行われたものです。

ツ店から大型商業施設内

市内のパン・スイー

市外からの誘客のた

でフェアを開催したいと



ショップ)の場として活

用できないか。

商工会とも協議しな

大型商業施設との連携を とびうおクラブ/安部

設内を 公共施設内で 芳英

生産者移動販売を

者などが常時行えるよう での行商行為を市内生産 民館など公共施設の敷地 に規制緩和できないか。 公園、 コミセン、 な方法は。

つないでいきたい。 がら、大型店と起業者を

目的に支障がない範囲 あれば、本来の施設利用 大や新規参入の可能性が で、推進に協力して 既存事業者の規模拡 外にも、地元の特性を生間 獲る・育てる漁業以 関連施設だけではなく、 を基本に検討していく。 の情報収集を行う。 体的なにぎわいづくり 県内外同様の施設

るべきではないか。今後、 海産物であり、活魚セン ターに加え、 めていくのか。 かしたまちづくりを進め 鐘崎の魅力は新鮮な 地域住民とどう進 海産物が食

べられる食堂の整備や誘



岬地区の活性化に向けてパー とびうおクラブ/北崎

生かした利活用の具体的 荷さばき所の設置も 漁協 を踏まえ、

その他の質問

問

芝生広場に今後も薬

の教育について。 〇T技術の活用を。



必要。環境に負荷がかか

には最低限の薬剤散布は

答 芝生を維持する 剤散布をするのか。

芝生を維持するため

ていく。 き所の水揚げ見学なども 地元コミュニティの意見 漁協、漁業者はもとより、 想定していきたい。今後、 致の検討。また、 計画をまとめ 荷さば

は

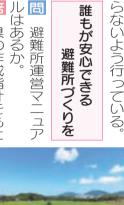
若手農業者支援として一

誰もが安心できる 避難所づくりを

ルはあるか。 避難所運 避難所運営マニュア

県の作成指針をもと





定化した しながら

宗像ユリックス芝生広場 携を強化 早急に協

護大と連

不安がある。 日赤看

な企業を誘

いった特性がある。

適正

環境・歴史・文化と

をつく () くり 来 たい。 るべきでは。 〕地再生の専門部署



正則

ふくおか市民政治ネットワーク/笠井 公共施設での薬剤散布について

に薬剤を散布した理由 にマニュアル案を作成 香奈枝

予定。 各自主防災組織に確認 問 修正を加え完成する

ことをどう知らせたか。 避難所が開設された

やすくなる。安全のため

が悪くなりコケですべり

雑草が増え、

、水はけ

モデル

薬剤を散布している。

掲載している。 市のホームページに

想定は。

国に要望してい

Rと引き続き協

人数は足りているか。 福祉避難所の受ける 大災害が起きた場 議答 能性が高い場所。周辺と い景観 たい。 体的 Ĺ 公園・緑・すばらし

学校があり、可

性を明確にした誘致をす

再生と一体として地域特

緑豊かな日の里団

べきでは。

議を行う ようなものを提案してい また民間企業と協 い、モデルとなる に整備方針を考え

年度、専門部署を



学校や4号公園の活用や

地域要望を含めて展開し とすべき。今後の り

業種を中心に検討した 環境に影響が少ない

環境へ配慮すべき。

自然豊かな地域であ

王丸地区の企業誘致は 剛

日の里団地東街区活用で再生を 宗像志政クラブ/吉田

うが、市の考えは。 子育て支援について 子どもの急病は、

の実施は待ったなしと思 な問題である。病児保育 くひとり親にとって大変 に事業実施の意向を確認 市内の全小児科医院 働





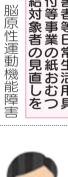
性まひ)

の紙

討する。

支給対象者の見直しを給付等事業の紙おむつ障害者等日常生活用具

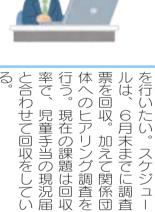




と合わせて回収をしてい 児童手当の現況届













会の委員国に向けて、イ

た価値を、世界遺産委員

れまで主張してき

コモス勧告に追加、補完

で前向きに発信し

宗像大社・辺津宮

部記載という勧告 に青天のへきれき 世界遺産・一括記載を目指して 宗像志政クラブ/森田 め、市長、 知事、 卓也

き、世界遺産委員会にお どのトップが現地に行 性などを説明すべきでは いて最後まで三宮の一体 宮司な

ないか。 直前まで活動することが 現地に行き、決定の

最善であれば、現地でユ

説明活動をしたい。 ネスコ大使などに十分な 👸 スポーツ推進計画に 的支援を継続していく。

南郷コミセンと南郷小学校との 連携が今後とも重要に

世界遺産勧告について

重要。今後は、総合型ク

取れるだけの会員確保が の自立が必要で、採算が ることからこの2カ年で

いることが安全面でプラ 地域住民が日中に校内に 授業利用とのすみ分け。

め、関係各課、

県土整備

や県道6号線の改良を含

人になることが重要

きたい。

で諦めるつもりはない。

もに最善を尽くし最後ま る。国・県・福津市とと 組んでいるところであ 録が認められるよう取り

事務所などと、安全対策

ため、自立できるまで人 ラブの市のモデルである 助成金が30年度で終了す

る仕組みづくりと学校の

数を増やし成長。課題は

着実に教室数と会員

必要。課題は子どもたち

により新たな場の確保が

づらい。県土木事務所も

同クラブの教室数増

の安全面を確実に担保す

県土木事務所と安全対策 問題意識を持っている。

の早急な協議を求める。

外された資産も含め、

登

定したわけではなく、

除

産群が外されることが決

歩道橋の老朽化対策

などについて伺う。 価と今後の課題、 活動・運営について、

、支援策

24年度から5年間

評の

充実すると考えるが。 放が進みスポーツ環境が

問

ほたるの里と河東コ

識的な判断」との評価が

ミセン間に歩道橋がある

ある。

勧告を受け入れる

べきではないか。

現時点では、

、関連遺

高齢者などには使い

南の郷クラブの今後の支援策は

(3)

せることで学校施設の開南郷小との連携を深化さ

告した。市民の中には「常島と3つの岩礁のみと勧

世界遺産登録を沖ノ

イコモスがユネスコ

日の日中開放)」がある。

|学校開放施設の拡大(平



る。 作放棄地増大につなが 問 放棄地の現状と対策 農業の人手不足は耕

るほか、 3 稔、 携して放棄地再生に取り を活用して管理を支援す 国や県の補助金など 条件の悪い所に多 利便性や土質な 農業委員会と連

取り組む。収穫の受託作 な担い手を視野に入れて 地再生や農業に取り組 問 農福連携の支援策は。 放棄地再生には多様

福祉団体などが放棄 放棄地は総面積50

業やイベントでの作物販

農福連携で農地保全と社会参加を 崇之 義務教育と高等教育

市民自治の会/上野

学校外バウチャー制度=子育て世代の経済的負担軽減のため、塾や習い事などの支払いに充てる利用券を提供する制度。

ら申し出があれば積極的 売など、福祉団体などか に関係先につなぎたい の支援を検討すべきでは。 的な目線で早い段階から の管轄を区別せず、長期 問

日の里団地再生の 取り組み強化策は

面から着手し、広い視点 学用品などの費用

で施策の検討見直しを行

 東街区10棟跡地の活
今後の体制強化は。 特に必要性が高い課題と 団地再生のために、

設置を考 用方針検討が喫緊の課題 ため、来年度の専門部署 である。団地再生促進の

べきでは。

度 (※1)を取り入れる

学校外バウチャー制

行形態には検討余地あ

いない。アセットマネジ 次計画の策定には至って

との連携した取り組みで

まず先に、地域社会

学力向上を推進したい



えていき

プレミアム商品券の 現状について

商工業活性化にあるはず 制度の最大目的は地元

教育費の家計負担軽減策につい 日本維新の会/岩岡 良 7

を促すことはできないか。 つけ、地元店舗での消費 の使用割合が極端に低い。 率の差は難しい。発 プレミアム率に差を 大型店と地元店舗 現状は地元店舗で るのか。 るが、改築計画策定と完 成の最終年度はいつとす

進し、市 た消費を喚起すべきで り。 は。 市外からの利用を促 より回遊性をもつ め、来年度までの2年間 で方向性を決めなければ メント計画では36年度中

の販売にも取り組みたい。 も考慮しながら、市外 市民へ還元すること



道整備の検討を。

学校の早期建設が急がれ 老朽化が進む城山中 城山中学校改築の進ちょく状況は 宗像志政クラブ/神谷

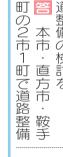
期整備要望区間として、 促進協議会を設置し、

居場所づくりに利用でき サービス施設を高齢者の 吉武地区にある元デイ 市の支援策は



門の自転車専用道路の延割 釣川沿いの通学道路

長と、太郎坊橋交差点県



建設計画がある。



を含め要望活動を続けて 自転車・歩行者道の整備

ミュニティバスは一定の

沿って、 域公共

公共交通の維持

も継続して啓発していき 多く含まれるため、今後

たい。また、資源物受入

スに見直しと情報

ふれあいバスやコ

、交通網形成計画に

公共交通の考え

万について問う

ル率を上げる方策は。

市民連

合/福田

昭彦

は分別収集できるものが

家庭の燃やすごみに

ニーズや社会情勢の変化 様化や高齢化など、市民 民のライフスタイルの多 成果を上げているが、

発信を

行う。行政、交通

施設の利便性向上を図っ

ていく。

に対応していくことが求

現状では具体的な年

その他の質問

められている。

今後の対

と充実を目指したい。

西側資源物受入施設

に沿った公共交通の実現 体で連携し、市民ニーズ 事業者だけでなく地域全

体系の構築を目指す市地

問

今後さらにリサイク

赤間街道の街づく

りと景観形成を

今里橋交差点の

安全対策を

共産党

/新留 久味子

持続可能な公共交通

ごみ処理

理基本計画の考え方



赤間街道周辺に14階建

ームマンションの

を定める考えはないか。

を提出。

実現可能な信号

治会は11年間改善提案書

死亡事故も起き、自

設置の検討を求める。

一つの信号機で一

は。また、建築物の用途

安全・安心な住環境を目指して 宗像志政クラブ/井浦

潤也

宿であり、

重要な景観資

みなさんと一緒に今後の

取り組みについて検討

かなどを できない 点が制御

赤間街道

た景観づくりを行う街道

歴史的要素を生かし

る必要がある。地区計画

つの交差

さまざまな手法を検討す

の説明など、地域住民の

う位置づけているのか。

街道周辺の景観をど

並み条例を含め、

ほたるの里前の安全対策を急げ

日本共産党/植木

隆信

コミュニティや消防 本市としての防犯対

の成果と課題は。 本市としての防

向上を図る必要がある。 な犯罪も多く市民の意識 知件数も減少。予防可能 模の市と比べて少なく認 実施。犯罪発生率は同規 なかたと防犯協働事業を 団と連携し青色防犯パト ロールを、また住マイむ 防犯カメラの普及



伝統行事である山笠の 保存と継承について

問景観を守るためにい源として認識している。

景観を守るために町

み条例などを検討して

教育的価値への理解は。 て検討できないか。また、 4地域の山笠の個別 4地域の山笠保存の 市無形文化財とし

的見地はもちろん、本市 の財産になると思う。 検討が不可欠。また教育 料・現地調査など慎重な 評価が必要で、詳細な資



登録に全力で取り組

以上、現時点では景観保た。全資産登録を目指す という厳しい内容に驚い 告と今後の取り組みは。 一部構成資産に限る 世界遺産イコモス勧 世界遺産登録と今 宗像志政クラ 持続可 後の取り組みは ブ/小林 能な農業経営、

全策や来訪者受け入れ事 の農業 が厳しさを増す中、今後 農業を取り巻く状況 施策の取り組み

理解してもらえるよう丁 業の見直しは考えていな 顕著な普遍的価値を 動支援 まな事 農者の育成、 業に取り組んでい を重点的にさまざ 地の集積、新規就 た市、 農地保全活 Ą

い。酒査した 活性化機構との連携協力

儲かる農業 栄二 利用の促進、ブランド化め農機具導入支援や共同 き続き取り組んでいく。 や高付加価値化などに引 く生産し高く販売するた かる農業については、安体制を維持していく。儲



配布、 掲載、

内外へどうPRする

世界遺産登録過程を

マナー

と方針は。

公共交通整備の課題

高齢者の交通手段拡充を

日本共産党/末吉

孝

議会事務局職員の説明を真剣な表情で は初めて入る議場に興味津々の様子で

いていました。

回線整備は民間サービス

2けを行う。また花の植基本とし企業への働き

るとともに、

Tの高速

にWi-Fi環境を整備す

対策の一環として大

月6日に日の里東小学

学校3年生が、フ

6月15日に日の里西

場を見学

環で議場見学に来ました。

子どもたち

校3年生が市役所での社会科見学の

離島振興策としてグラン

大島の来訪者対策と

グ(※2)の検討は。

検討

継続するような仕組みを

盛り込めないか検討中。

の撮影を予定している。

レビ放送の後も効果が

定する際にはその内容を

また条例や憲章などを制

作を行う。

市民参加のドラマ製

ケ地とし、

赤間宿などで 市内各所を口 よる周知の協力を依頼。

マスコミへ報道に ムページへの アップチラシ 陸などに対する法的な規 問

沖ノ島への違法な上

世界遺産登録へ向けた最後の課題 宗像志政クラブ/井上

ふれあいバス 問

説明しているが本当か。 小で非常に危険なた 県は市の強い要望と井、畦町村山田線。 改良を要望している。 アクセス道路として

期的に見直しを行う。 固る

運行している。今後も定 第3系統の運行改善を。 市民の希望に沿って ふれあいバスの第2 高齢者福祉の観点か

急ぐべき箇所はどこか。 **答** 立置づけよな、 画での位置づけは。 位置づけはない。 市の幹線道路整備

平井、 宗像福間線の土穴と 市内の県道で整備を

道畦町村山田線 道路改良について

える交通体系構築を進め り。まちづくり戦略を支 確保など複数の課題あ

> いない。 ら無料パス券の発行が検 討できないから 無料化の検討は-

交通弱者の移動手段

提出議案と議決結果

同意、 承認、 可決した議案のうち、主な議案と賛否が分かれた議案を紹介します。すべての 6月定例会で審議し、 議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

【全員賛成で可決した主な議案と内容】

正文

グランピングも検討す 裁事業の拡充と合わせて

る。

議 案 名	内 容						
宗像市特定教育・保育施設及び特定地域型保育 事業の運営に関する基準を定める条例の一部を 改正する条例	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準及び子ども・子育 て支援法施行規則の一部を改正する内閣府令が施行されたことに伴い、条例の一部 を改正するもの						
宗像市体育施設条例の一部を改正する条例	宗像市運動広場の管理を指定管理者による管理に変更することに伴い、条例の一部を改正するもの						
宗像市地区計画の区域内における建築物の制 限に関する条例の一部を改正する条例	エコパーク地区地区計画の変更に伴い、条例の一部を改正するもの						

【賛否が分かれた議案名と議決結果(○:賛成した人 ◆:反対した人)】

議案名	議員名議決結果	岩岡良	上野 崇之	井浦 潤也	笠井香奈枝	小林 栄二	吉田剛	森田 卓也	安部 芳英	井上 正文	岡本 陽子	北崎 正則	伊達 正信	神谷建一	福田 昭彦	小島 輝枝	新留久味子	石松 和敏	植木 隆信	末吉 孝
財産の取得について	可決	0	0	0	•	0	0	0	除斥 (※3)	0	0	0	0	0	0	0	•	0	•	•

※花田鷹人議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決め る裁決権があります

フィルムコミッションについて

プレミアム商品券発行助成について

ビジネスサポートセンターについて

また、2月末まで商品券の使用ができ、 を1セットで販売しているところである。 規模店専用券(プレミアム10%)の2種類 全加盟店共通券(プレミアム0%)と、

学

(学生服など) の購入にも活用されて

平成29年5月9日~5月11日(3日間)

愛知県一宮市

(5月9日) 愛知県小牧市

(5月10日)

愛知県岡崎市

(5月11日)

ミアム率の格差をつ

た小牧市の取り は大変参考になる

組

※安部議員は地方自治法第117条の規定により除斥となりました。

事業であ

政務活動費収支

政務活動費収支報告書ご領収書を公開

政務活動費は、議員の調査研究、その他の活動に必要な経費の一部と して、地方自治法および市の条例に基づき、議員に交付されるものです。 本市の場合、議員個人に月額2万2千円(年額26万4千円)を上限 に交付しています。対象となる経費は表のとおりです。

政務活動費の対象となる経費

議員席に座って説明を聞く子どもたち

項目	内 容
研修開催費	・研究会や研修会を開催する経費
調査研究費	・先進地調査や現地調査の経費・他の団体が開催する研究会や研修会に参加する経費
資料作成および 資料購入費	・資料の作成や図書の購入に要する経費
広報および 広聴費	・調査研究活動、議会活動や市の政策について、住民に報告・ PRするために要する経費 ・要望や意見を聴取するための会議などを行う経費
人件費	・調査研究活動を補助する職員を雇用する経費
事務所費	・調査研究活動のために必要な事務所の設置や管理に要する経費

28年度は、議会全体で総額約428万円が使用されました。 議員から提出された収支報告書・領収書は、市議会のホームページで 公開しています。

【宗像市公式ホームページ→市議会→政務活動費→○○年度交付分→議 **昌名をクリック**

また、議会事務局で申請をすれば、写しを閲覧することができます。 *書類の整理期間などで閲覧できない場合がありますので、事前に議会 事務局までご連絡ください。

近年、一部の議会では政務活動費の不適切な使い方が問題となってい ます。本市のように領収書をホームページで公開しているケースは全国 的にも少なく、先進的な取り組みであるといえます。

編◆集◆後◆記

予算決算第2…特別会計

企業会計

当選後3回目の議会を終え、一般質問、 そして提出される議案において、今、宗像 市はさまざまなチャレンジをしていると感 じました。

今後も市民から選出いただいた責任を もって、市民の声を市政にしっかりと反映 小林 栄二 させてまいります。

審査します。 度の補正予算案につい 度 予算決算特別委員会で 28年度の決算や29 年

月定例会 見どころ

内の公共施設やホーク本会議と委員会は、東 請願 月28日 (月) タブレット端末でもご す。 覧いただけます。 ページで中継していま内の公共施設やホーム本会議と委員会は、市 ージに掲載します。 スマー・ の提出締切 トフォン・ です。 日は8 ム開

市議会のくわしい情報や 議会中継はホームページを ご覧ください。

宗像市議会

 $QR \Box - F$

議会事務局へ お問い合わせは Tel0940(36)1119



建

設

産業常任委員

会

《行政視察報告》

小牧市のプレミアム商品券の最大の特徴

大型店などでの利用偏り防止のため、

/]\

※す 員会の行政

行政視察報告書はホームペ 5月に実施した、 掲載しています 視察の の概要を報告しま、建設産業常任委 ージに



市にとっては、

金額の割合が低い本 た。大型店以外の換 いるとの説明があっ

本会議(一般質別本会議(一般質別本会議(一般質別本会議(一般質別本会議(一般質別本会議(一般質別本会議(一般質別)。 予算決算第1時, 一般質別。 一般可以 一般可以 一般可以 一般可以 一般可以 一般可以 一成可以 一	※ · 予	29	22	21	20	19	15	13	12	11	8	7	6	5	9/4	
(一般語) (一學》) (算決	金	金	木	水	火	金	水	火	月	金	木	水	火	月	程
	1	計議	委員会予備日	員会(※) 予算決算第2特別委	予算決算第2特別委	1 特		建設産業常任委員会	社会常任委員会	総務常任委員会	本会議予備日	(一般質問、	$\widehat{}$	会議(一	程	内容

会3日前に議会 会が、

9

洭

会

0

予定)